

# 新進級課程への移行要領

平成29年4月1日  
日本連盟プログラム委員会

## 1. 移行期間

各隊・団で上進時期を考慮のうえ、平成29年9月1日から平成30年3月末日の間に移行を開始し、1年以内に移行を完了します。

- (1) 9月上進の隊は、平成29年9月から移行を始め、平成30年8月までに移行を完了します。
- (2) 4月上進の隊は、平成30年4月から移行を始め、平成31年3月までに、もしくは、平成29年9月から移行を始め、平成30年8月までに移行を完了します。
- (3) 移行開始時にベンチャー隊に所属するスカウトに限り、現行の進級課程のまま富士スカウト章を目指すために、最長2年間の移行期間延長が認められます。

## 2. 移行準備

日本連盟は「移行」に伴い、以下の資料または書籍を準備しています。

### ○ 資料

- ・ 新進級課程の移行要領 [リーダー]
- ・ 移行のためのリーダーハンドブック [リーダー]
- ・ 進級課目読み替え表 [スカウト]

### ○ 書籍

- ・ 技能章考査の手引き [リーダー]
- ・ 進歩の手引き [スカウト]
- ・ 進歩記録帳 [スカウト]

なお、スカウトハンドブックおよび隊長ハンドブックについては、部門の一体化の手続き、そして書籍の在庫状況を考慮したうえで出版時期を検討しています。

## 3. 各隊の移行準備

移行にあたっては、新進歩課程の主旨を理解し、スカウトに対して十分な説明を行なうと同時に保護者、他部門指導者、団関係者とも共通理解を得るよう説明をお願いいたします。

今回の改正は、ボーイスカウト部門とベンチャースカウト部門の両方の進級課目に関わるため、移行の時期やボーイ隊からベンチャー隊へ上進するスカウトへの対応について両部門の指導者が共通理解のうえ進めていく必要があります。

### ① スカウトへの説明

スカウトに対しては、新進級課程の趣旨と具体的内容を説明し、初級スカウトから富士スカウトまでの一貫した進歩制度であることを理解させます。

班長に対しては、課目の認証等を班長が行い、必要に応じて隊指導者が援助することを再確認し理解させます。また班会議等の実施方法についても、同様に再確認し、より自主的に活動を展開できるよう指導します。

### ② 保護者への説明

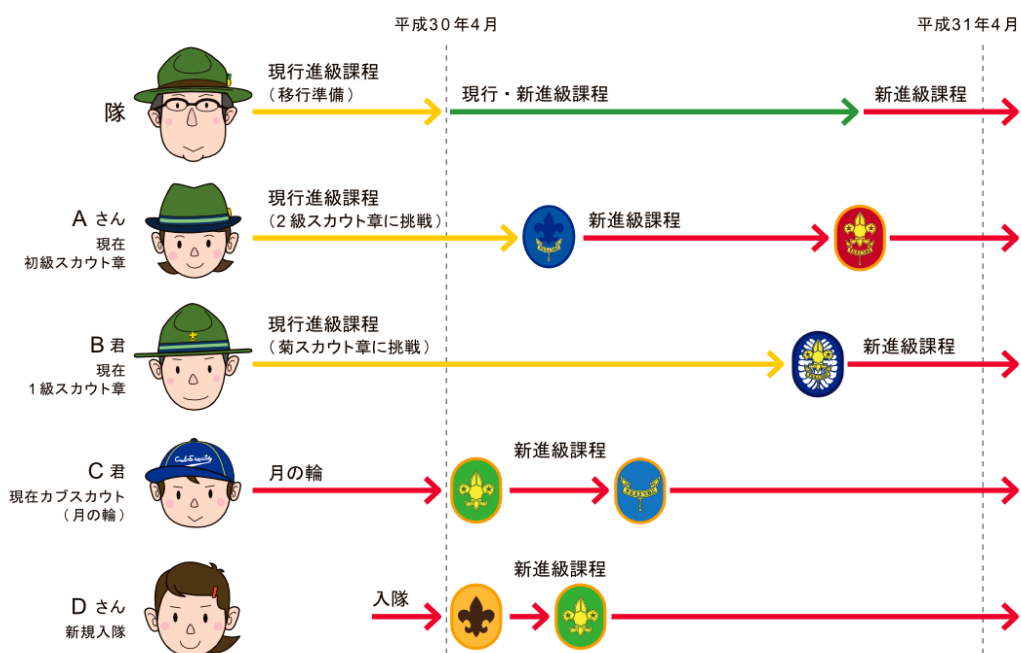
保護者に対しては、新進級課程の趣旨を周知してください。また、それぞれの進級課目に設定された「キーワード」と「目標」から、スカウトの現在位置を伝え、その後の成長した姿を想像させるようご説明ください。

### ③ 団関係者との調整

今回の改定に関わるボーイ隊、ベンチャー隊の指導者がまずご理解いただき、団関係者、隣接部門のカブ隊、ローバー隊の指導者に新進歩課程の主旨と具体的内容を説明し、必要な援助について話し合い、共通理解を得ます。

また、新たな書籍の準備、従来の選択課目の活用（ターゲットバッジ、マスターバッジ）と進級課目に関連する技能章の準備といった経費面についても団内で話し合いコンセンサスを得ます。

以下は、平成30年4月に移行を開始した時の図（スカウティング誌1月号より抜粋）です。移行時期はスカウトで異なります。個々のスカウトがどのタイミングから新進級課程に取り組み始めるか、隊指導者からスカウトへ説明をするこの移行準備が重要です。



## 4. 移行の方法

### (1) 移行のための隊集会

移行に際してはスカウトの進級状況の把握は必須になり、そのために「移行のための隊集会」を実施することが必要不可欠です。移行の説明には「移行のためのスカウト読み替え表」を活用してください。読み替え表には新しい課目の一覧があり、スカウト自身が現行課目で履修したものを探してチェックすることで、対応する技能章の細目を履修したものとみなすことができ、残りの細目に挑戦することで取得につながります。

スカウトたちは新しい課目を知ることができ、なおかつ、現行の履修状況を自分たちで確認し、挑戦してみたいものを挙げられるという利点があります。

### (2) 移行の時期を調整する

平成29年9月1日以降、ボーイスカウト部門およびベンチャースカウト部門に新たに上進・入隊するスカウトは、新進級課程を履修します。また、既入隊のスカウトは、現在の級について現行の進級課程を履修し、次の級からは新進級課程に則ることで、各隊・団で1年以内の完全移行を目指します。

移行の時期を調整するにあたっては、団によって上進の時期が異なることや、スカウトの各年代が何人いるか、どこまで進級しているかにも影響します。移行の時期については、上進時期に応じた2つの時期で3つの方法が考えられます。

#### ① 9月上進の隊・団の部分移行

平成29年9月に上進・入隊するスカウトから新進級課程を履修し、既入隊のスカウトは、現在の級の履修を修了して、次の級から新進級課程に移行を始め、平成30年8月までにすべてのスカウトの移行を完了します。

ベンチャー隊へ上進する中学3年生は、既入隊のスカウトと同じく、現在の級の履修を修了して、次の級から新進級課程に移行を始めます。

#### ② 4月上進の隊・団の部分移行

平成30年4月に上進・入隊するスカウトから新進級課程を履修し、既入隊のスカウトは、現在の級の履修を修了して、次の級から新進級課程に移行を始め、平成31年3月までにすべてのスカウトの移行を完了します。

#### ③ 4月上進の隊・団の一斉移行

平成29年9月以降、上進前の平成30年3月までの間にすべてのスカウトが現行の級の履修を修了して、すべてのスカウトが新進級課程に移行を済ませ、平成30年4月から上進・入隊するスカウトを含めて、一斉に新進級課目に取り組みます。

一見、新旧2つの進級課程がなく合理的に思えますが、半年以内にすべてのスカウトが次の級に進級しなければ、②の部分移行と同様に2つの進級課程を並行して取り組むこととなります。

### (3) ベンチャースカウトの移行

移行の方法と時期は、上記のボーイ隊と共通ですが、移行時に高校2年生のベンチャー章取得者で隼章を履修しているスカウトには次の配慮が必要です。

#### ① 履修状況が遅い場合

ベンチャー章を取得後、隼章への履修状況が遅い場合には、途中で移行期間を経過してしまう恐れがあり、履修途中で新進級課程を取り組み直すこととなります。

#### ② 移行期間内に隼章を取得した場合

隼章を取得後、新進級課程の富士章を履修することになり、取得のハードルが高くなります。

新進級課程と比べ、現行の隼章と富士章はスカウト技能に関する累進制が異なるため、必須とする技能章やスカウト技能の違いから、ボーイスカウト時代に1級章以上に進級していないと新進級課程の細目の履修が難しくなります。そのための特別措置として、次の方法が考えられます。

#### ① 移行期間にボーイ隊からベンチャー隊へ上進するスカウト

平成29年9月または平成30年4月にボーイ隊からベンチャー隊へ上進するスカウトは、(2)で行う移行方法の既入隊のスカウトとして扱い、ベンチャー隊へ上進してからも現行の進級課程を履修し続け、次の級から新進級課程に移行します。ただし、上進前に2級の場合には、現行の1級課目をベンチャー隊で履修することになるので、ベンチャー隊でも現行の進級課程を履修できる活動を取り入れるか、ボーイ隊のジュニアリーダーとして奉仕しながら履修する取り組みが必要となります。

#### ② 移行開始時に高校2年生のベンチャースカウトでベンチャー章取得者

移行を始める前に、現行の履修状況とボーイスカウト時代の進級状況を比べ、現行の進級課目のまま富士章を目指すか、ボーイ隊で取得した次の級から新進級課程に取り組み富士章を目指すかを判断します。

前者の場合には、1年の移行期間を超えて最長2年間まで現行の進級課程を続けられます。